

平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第6区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

1 バブル経済の時代、記者の体験から「社会矛盾を正す」ことが志の原点でした。私は政治資金パーティーなるものを一切やらず、議員歳費と政党助成金、支えてくださる方の浄財で活動しています。社会矛盾を正すために政治家を志した自分が、しがらみをつくってはならないという信念です。「正論健在」の姿勢を貫きます。

2 ルールを守って働いている人、身を切り詰めて経営に携わる人、家庭を守っているひと、自分のことを後回しにして地域社会に貢献しているひと、まじめに生きている人にツケが回される世の中にはしません。日本のチカラの源は「ひと」です。出産、子育て、自己実現への学び、雇用、社会への貢献、地域企業を経営しながら日本を支え、創っているひとびとの人生のための政策に転換します。

3 世界の中の日本としての外交方針や、皆が大切にしてきた日本の伝統・文化の継続はどの政党が政権の座にあっても、大きく変わってはなりません。政界再編で政治にもう一度、信頼と緊張を取り戻します。

正論健在

政治に信頼と緊張を

渡辺 周プロフィール

- 昭和36年(1961年)12月11日生まれ
- 沼津市立二小、沼津一中、沼津東高卒業
- 早稲田大学政経学部卒、読売新聞記者
- 静岡県議会議員を経て、衆議院議員6期
- 元総務副大臣、元防衛副大臣
- 超党派 拉致議連会長代行
- 超党派 領土を守る議連事務局長
- 党 地方再生総合調査会長
- ボイスカウト静岡県連盟副連盟長

経験と人脈で郷土と国のため実現します。

郷土を日本の理想のふるさとへ

- 1) 駿河湾環状道路・三島函南間開通、スマートインター新設(沼津市内2ヶ所)で近くなる首都圏から沼津・伊豆エリアへの定住促進。
- 2) 地元特産のお茶や果物、農作物を積極的に海外に売り出します。(来年のイタリミア・ミラノ博での“静岡食材売り出し”を川勝県知事に働き掛け、日本館で実施)。
- 3) 公立高校に「マリンコース」「ネイチャーコース」など海や自然の専門科を設け、首都圏からの若者を受け入れ。
- 4) ドクターヘリの夜間運航早期実現、伊豆縦貫道(与党時代に下田河津間事業採択)の早期整備。
- 5) 外国人観光客対応のための観光増大に集中支援。

国政に緊張と信頼を取り戻し、改革を続けます。

- 1) 中小企業、家計を直撃する急激な円安への早期対策。
- 2) 非正規労働を固定せず、将来設計できる人生のため、政策の主眼は「ひとへの投資」に振り向けます。赤字企業へも課税する外形標準課税、家庭を守る役割を担う配偶者控除の見直しは慎重に。
- 3) ますます必要とされる介護職の介護報酬を引き上げ、定着率を高めます。
- 4) 出産、育児、子どもをもつ家庭の経済負担を軽減します。
- 5) 省エネ新エネ蓄電技術を成長戦略に。
- 6) 民主党政権が安倍現総理に約束させた国会議員の定数削減断行。
- 7) 昨年2800億円(会計検査院指摘)に代表されるムダ使い、天下りを許しません。
- 8) 中国や韓国との“情報戦”に負けぬ対外広報戦略を強化します。



わたなべ 周

昭和36年12月11日生まれ(53才)

民主党公認

安倍暴走ストップ! 政治を変えましょう

日本共産党を伸ばせば政治は必ず変わります。

政治とカネ
企業・団体献金禁止
政党助成金廃止を
●金権・腐敗政治の原資を断ちきる

浜岡発
再稼働NO!
「原発ゼロの日本」への
●再生可能エネルギーの普及を

集団的自衛権
「戦争する国」づくり許さない
憲法9条生かした平和外交を
●日本を「殺し、殺される国」にする「閣議決定」は撤回を
●「北東アジア平和協力構想」を提唱

アベノミクス
「格差拡大」「景気悪化」STOP!
くらし第一で経済たて直す
●人間らしく働ける雇用のルールを
●社会保障一切りすてから充実へ
●TPP撤退、農業と中小企業の振興

消費増税に頼らない別の道を
●富裕層と大企業に自分の負担をもとめる
●大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収をふやす

消費増税、若者つかい捨て、格差拡大、戦争する国づくり、原発再稼働... 国民の願いとはアベノミクスの安倍政権。いっしょに暴走ストップさせましょう。

消費増税10%の「増税3兄弟」(自・公・民)に審判を

若者の雇用まもり
正社員があたりまえに

「先送り」でなく
「中止を」

がまぐっちゃん
カクサン部!

雇用のヨーコ

http://www.jcp-shizuoka.jp

【佐藤たつひこはお約束します】

消費増税、若者つかい捨て、格差拡大、戦争する国づくり、原発再稼働... 国民の願いとはアベノミクスの安倍政権。いっしょに暴走ストップさせましょう。

消費増税10%の「増税3兄弟」(自・公・民)に審判を

若者の雇用まもり
正社員があたりまえに

「先送り」でなく
「中止を」

がまぐっちゃん
カクサン部!

雇用のヨーコ

http://www.jcp-shizuoka.jp

【佐藤たつひこはお約束します】



佐藤 たつひこ

プロフィール
1976年生まれ、38歳。アメリカから「パー」高校卒業。トラベルカレッジ、東海造船運輸などに勤務。現在、党伊豆地区委員会青年学生部長。

日本共産党

勝 かつまた孝明 自民党

沼津・駿東・伊豆から「日本再生」

子どもたちの未来のために
着実に働いています!

中小企業ものづくり補助金の要望 小規模企業振興基本法の制定 地域ブランドの推進 道の駅設置促進 農水省へ豪雪被害の補償要請 スーパーグローバルハイスクールの実現 伊豆縦貫道全線、東駿河湾環状道路西区間の早期開通要望 スマートインターチェンジの設置 災害対策・土砂災害防止法の制定 沼津港港湾振興ビジョンの推進など

誠実に! さわやかに! ふるさとの発展のために!
地元生まれの「新戦力」38歳

プロフィール
昭和51年(1976年)沼津市生まれ
しょうえい幼稚園 卒園
沼津市立門池小・中学校 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院
経営管理研究科 卒業
(経営学修士・MBA取得)
スルガ銀行株式会社勤務
財団法人企業経営研究所研究員
(地域経済産業分析)
経営企画部 人事担当マネージャー
平成24年12月 衆議院議員(1期目)
●経済産業委員 ●内閣委員
●財政・金融・証券関係団体委員会副委員長

家族
父親(沼津市出身)
母親(伊豆市出身・修善寺)
妻・長男・長女・次男

■明確な成長戦略で経済再生・雇用創出
■世界トップレベルの人財育成・教育改革
■働く女性、子育て世代を応援し少子化に歯止めを
■安心・確かな社会保障制度の確立
■徹底した行財政改革により将来へのつけを無くす
■国家の主権と領土を守るための毅然とした外交

http://www.t-katsumata.com/
かつまた孝明



かつまた 孝明

昭和51年 沼津市生まれ 38歳

自民党公認

届けよう

あなたの声を 投票で

投票日は

12月14日(日)



投票日に仕事やレジャーなど予定のある方は
「期日前投票」をしましょう。

12月13日(土)まで 午前8時30分～午後8時

(一部地域を除く)

静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会

